

現場から見る子どもの貧困対策と 安心・安全な子どもの居場所について

認定NPO法人カタリバ
前林 正洋



気になったことは講演中に
Slidoで随時質問してください！

スライドウ



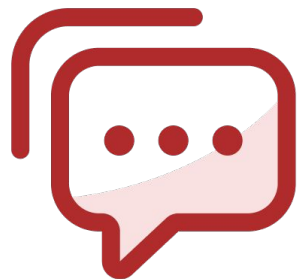
slido サインイン サインアップ

アクセスコードを入力

アクセスコードを入力 →

すべて会議をインタ
ラクティブに！

1963990



Slidoで随時質問してください！

スライドウ



slido サインイン サインアップ

アクセスコードを入力

アクセスコードを入力 →

すべて会議をインタラクティブに！

1963990

自己紹介_前林正洋



✓ 中学生時代 —

中学生時代に通っていた学習塾が自分にとってのサードプレイス。勉強以外のこともたくさん教えてくれて、オトナと遊べる場所。

✓ 大学生時代 —

社会学を専攻、興味をもっていたのは、ジェンダー/セクシャリティの領域。学外活動としてボランティア等も経験。

✓ 社会人 —

社会課題に対して、ビジネスを通じてアプローチすることを魅力に感じ、障害者支援を行う会社で発達障害児支援を行う。

✓ カタリバ —

アダチベースにて校内居場所支援の立ち上げや高校生居場所事業の責任者を担う。

認定NPO法人カタリバについて

Vision

どんな環境に生まれ育っても未来をつくりだす力を育める社会

Mission

意欲と創造性をすべての 10代に

名称

認定特定非営利活動法人カタリバ

職員数

157名(2024年6月現在)

設立

2001年11月1日(2006年法人格取得)

住所

東京都中野区中野5丁目15番2号



6つのドメイン 15の事業

アダチベースはユースセンタードメインにあり、ユースワークとサードプレイスという切り口から「困難を抱える子どもたちの、心の安全基地」として、学びとつながり、生きぬく力を育んでいる

マイプロジェクト・
探究学習推進



マイプロジェクト

コラボ・スクール
双葉みらいラボ

New Public
Education



大槌町教育魅力化

オンライン探究

RULE MAKING

ユースセンター



b-lab

アダチベース
ADACHI BASE

インキュベーション



10代の秘密基地をつくる！
ユースセンター-起業塾

オンライン・
子ども家庭支援



キッカプログラム
kikkake PROGRAM

room-K

カタリバ相談チャット

足立区不登校支援

スペシャルニーズ



おんせんキャンパス
Onsen Campus

RoOTS
根が広がる、豊かな学び。

sonaeru
足立区子ども家庭支援センター

中野ハイティーン会議



未来の中野を、
つくれる場所。

主催 中野区
運営 認定NPO法人カタリバ



中野区 プロジェクト

キックオフDAY

2024.7.14 [日] 10:00-13:00

中学生・高校生年代が、学校や学年の枠を超えて自由に発想し、
地域で活動する「ハイティーン会議」の新規メンバーを募集します。

活動日

7月14日(日) / 7月28日(日) / 8月11日(日) / 8月18日(日) / 9月15日(日) /
10月20日(日) / 11月10日(日) / 11月24日(日) / 12月15日(日) /



中野区役所 子ども教育部 育成活動推進課 若者活動支援係
TEL: 03-3228-5648 MAIL: kenzenikusai@city.tokyo-nakano.lg.jp

会場 中野区役所 新庁舎6階 第603～605会議室
対象 中野区在住・在学・在勤の中学生・高校生年代
募集人数 20人程度(先着順)
募集締切 2024年6月30日(日)

詳細、お申し込みは中野区公式ホームページから

中野 ハイティーン会議

検索

<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kosodate/wakamonoshien/>
0686146620240513231647697.html



詳しくは裏面へ！▶▶▶

中野若者会議



新しい中野に、
出会える場所。

主催 中野区
運営 認定NPO法人カタリバ



キックオフDAY

2024.7.14 [日] 14:00-17:00

若者・大学生の視点で地域づくりにつなげるために、中野区ではどんなアクションが必要なの
でしょうか？若者の地域参加を実現する「若者会議」の第3期メンバーを募集します。

活動日

7月14日(日) / 7月28日(日) / 8月11日(日) / 8月18日(日) / 9月15日(日) /
10月20日(日) / 11月10日(日) / 11月24日(日) / 12月15日(日) /



中野区役所 子ども教育部 育成活動推進課 若者活動支援係
TEL: 03-3228-5648 MAIL: kenzenikusai@city.tokyo-nakano.lg.jp

会場 中野区役所 新庁舎6階 第603～605会議室
対象 中野区在住・在学・在勤の大学生から社会人
(おひとり18歳から29歳)
募集人数 20人程度(先着順)
募集締切 2024年6月30日(日)

詳細、お申し込みは中野区公式ホームページから

中野 若者会議

検索

<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kosodate/wakamonoshien/>
0686146620240513231647697.html

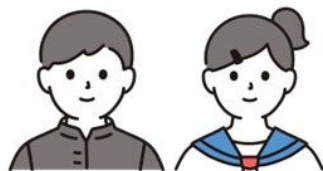


詳しくは裏面へ！▶▶▶

中野区プロジェクトとは

自主的・自発的な活動や地域参加へ

2022年度～
月1会議



中高生

ハイティーン
会議

学校や学年の枠を超えて、意見交換やフィールドワークを通して考えを深め、中高生ならではの**意見表明**につなげる。



大学生から社会人

若者会議

活動を踏まえた**政策提言**により、若者ならではの視点を区政や地域に生かすとともに、若者と地域のつながりを構築していく。



中野区

×

未来は、つくれる。
KATARIBA
Shape the Future

事務局運営

白い仮面の銀座強盗、高校生含む4人の身柄確保...「伏せる殺すぞ」とロレックスなど奪う

2023/05/09 11:46

この記事をスクラップする



白い仮面の銀座強盗の動画はこちら

東京・銀座の高級腕時計店で8日午後に起きた強盗事件で、警視庁は9日、事件後に約3キロ離れた場所で身柄を確保されたのは、いずれも横浜市に住む16～19歳の男4人だったと発表した。強盗グループは5人組との目撃情報があるほか、ほかに指示役がいる可能性もあり、警視庁が捜査を進める。



発表によると、逮捕されたのは無職少年（16）、私立高校3年の男子生徒（18）、職業不詳の男（19）、飲食店アルバイトの男（19）。それぞれ8日夜に港区赤坂のマンションに侵入した邸宅侵入や住居侵入容疑で、調べに少年ら3人は「間違いない」と侵入容疑を認め、直2の男子生徒は「知らない」と供述してい

事件になっているのは氷山の一角

これまでに、アダチベース利用者が関わったことのあるケース。

我々が認知できているもの以外にも、潜在的なリスクを抱えている場合もある。

- 万引きや器物損壊のために逮捕され、自立支援施設にいったケース
 - 保護観察処分もあったものの、軽犯罪を犯してしまった
- 未成年での飲酒喫煙
- 免許未取得で原付、中型バイクに乗って事故を起こす
- SNSで知り合った他者に、性的な画像を送信する（グルーミング被害）
 - リアルで知り合った異性グループと性的関係に至ってしまうケースも
- 中学生にしてうつ症状を抱えてしまい、入退院を繰り返す
 - 家でも暴れて家電を壊したりするため、テレビ、冷蔵庫なしで過ごす

本日の講演をとおして

- ✓ 身近にある子どもの貧困について想像する
現場のリアルがつつたわる
- ✓ 対象の子ども、家庭へのかかわりについて考える

本日のお品書き

1

中野区・足立区における貧困対策とアダチベース概要

2

休憩

3

アダチベースにおける支援内容・事例紹介

4

現状の課題と今後の展望・子どもたちの声

1

中野区・足立区における貧困対策とアダチベース概要

2

休憩

3

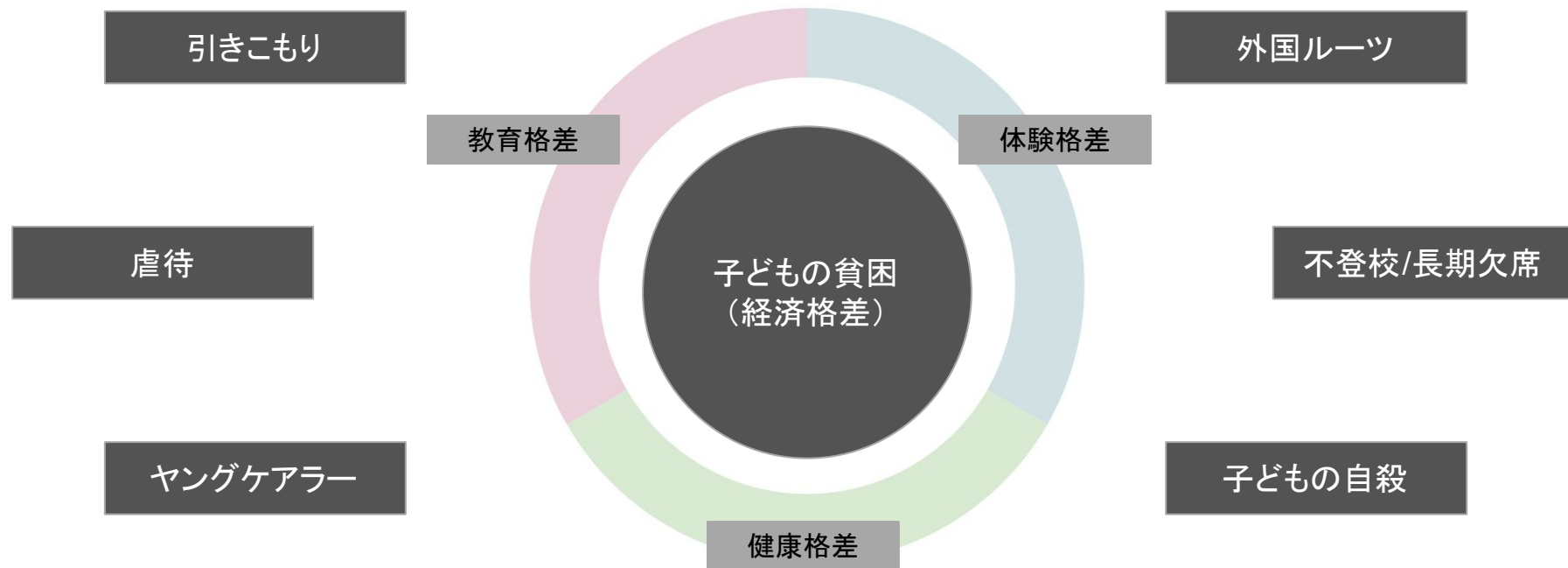
アダチベースにおける支援内容・事例紹介

4

現状の課題と今後の展望・子どもたちの声

子どもの貧困対策に係る動き

昨今の子どもを取り巻く各種問題と子どもの貧困は隣接しており影響している
～あったかい平和のなかに、ぬるっと存在する子どもの貧困～



子どもの貧困対策に係る動き

R4年の国民生活基礎調査(厚労省)によると、
日本の「子どもの9人に1人が貧困状態にある」ことを示している。
大人が一人の世帯の貧困状態はさらに深刻である。

日本の子どもの貧困率

11.5%

9人に1人の子どもが貧困



子どもがいる現役世帯のうち
大人が一人の世帯員貧困率

44.5%

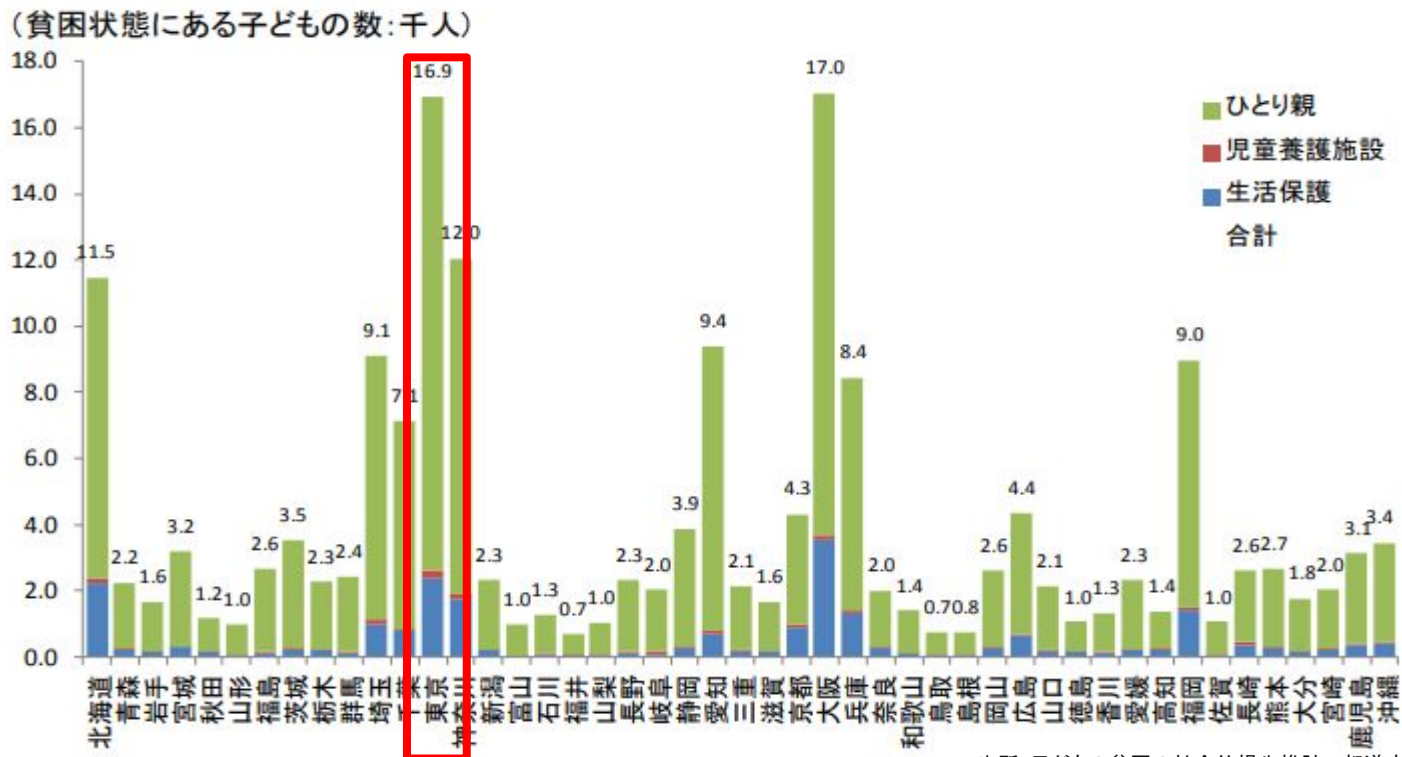
2人に1人が貧困



出展 | 令和4年国民生活基礎調査より令和3年の貧困率

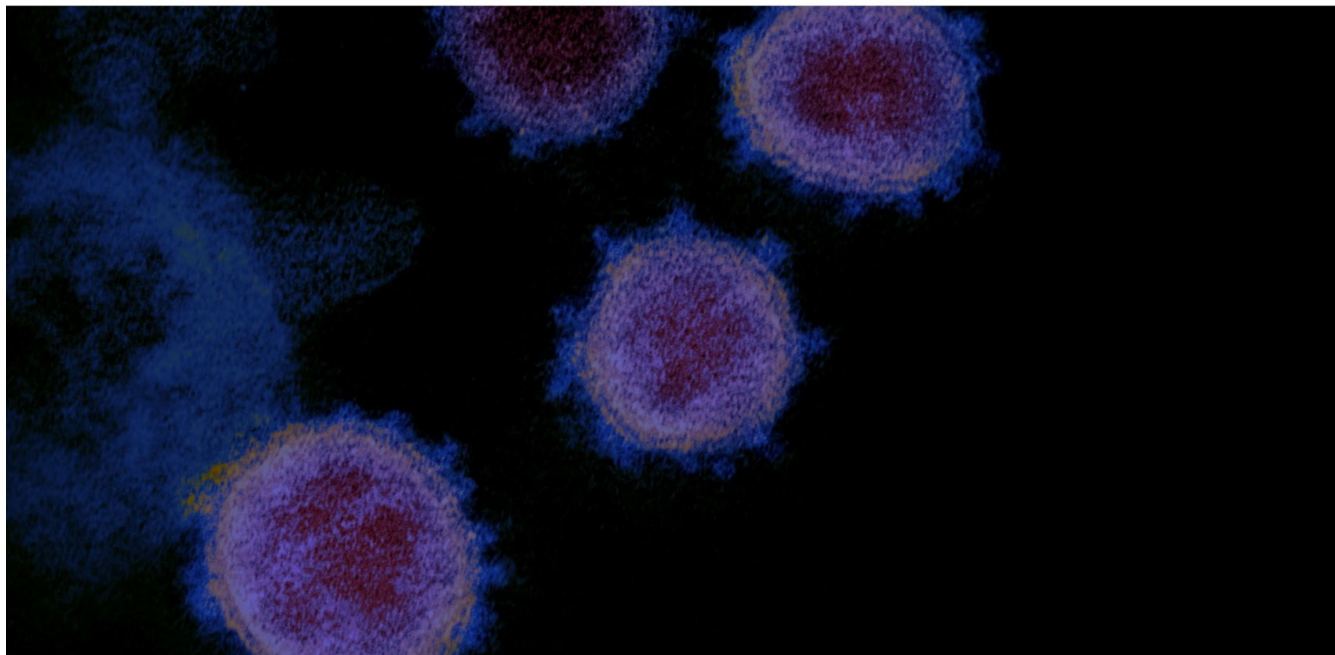
子どもの貧困対策に係る動き

▼都道府県別 貧困状態にある子どもの数(2015年)



出所: 子どもの貧困の社会的損失推計—都道府県別レポート(日本財団)

新型コロナ 長期化



子どもの貧困対策に係る動き

国

中野区

足立区

2014

子どもの貧困対策の推進に関する法律 施行
子どもの貧困対策に関する大綱 制定

2015

子どもの貧困率 13.9%
生活困窮者自立支援法 施行

中野区子ども・子育て計画 策定

足立区子どもの貧困対策部 創設
子どもの貧困対策実施計画 第一期
居場所を兼ねた学習支援事業 開始

2016

子ども・若者育成支援推進法 施行

・以降区内4施設に拡大
・高校生向け分室開始

2019

こどもの貧困対策法・大綱 改定

2020

子どもの貧困対策実施計画 第2期

2021

新・子ども・若者育成支援推進大綱

中野区基本計画 策定
(子どもの貧困対策への取り組み明記)

子どもの未来応援基金 設立
ハバタキ塾スタート

2022

子どもの貧困率 11.5%児
童福祉法改定
成年年齢引き下げ

中野区子どもの権利に関する条例 制定
子ども相談室開設・児童相談所設置

2023

こども家庭庁設立・こども基本法施行

中野区子ども総合計画 策定
中野子ども・若者支援センター開設

高校生世代への居場所事業 開始

子どもの貧困対策に係る動き

全国のこども食堂数は公立中学校数とほぼ同じ
年々増加傾向



2018年以降は認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ、および地域ネットワーク団体調べ、2016年は朝日新聞調べ

子どもの貧困対策に係る動き

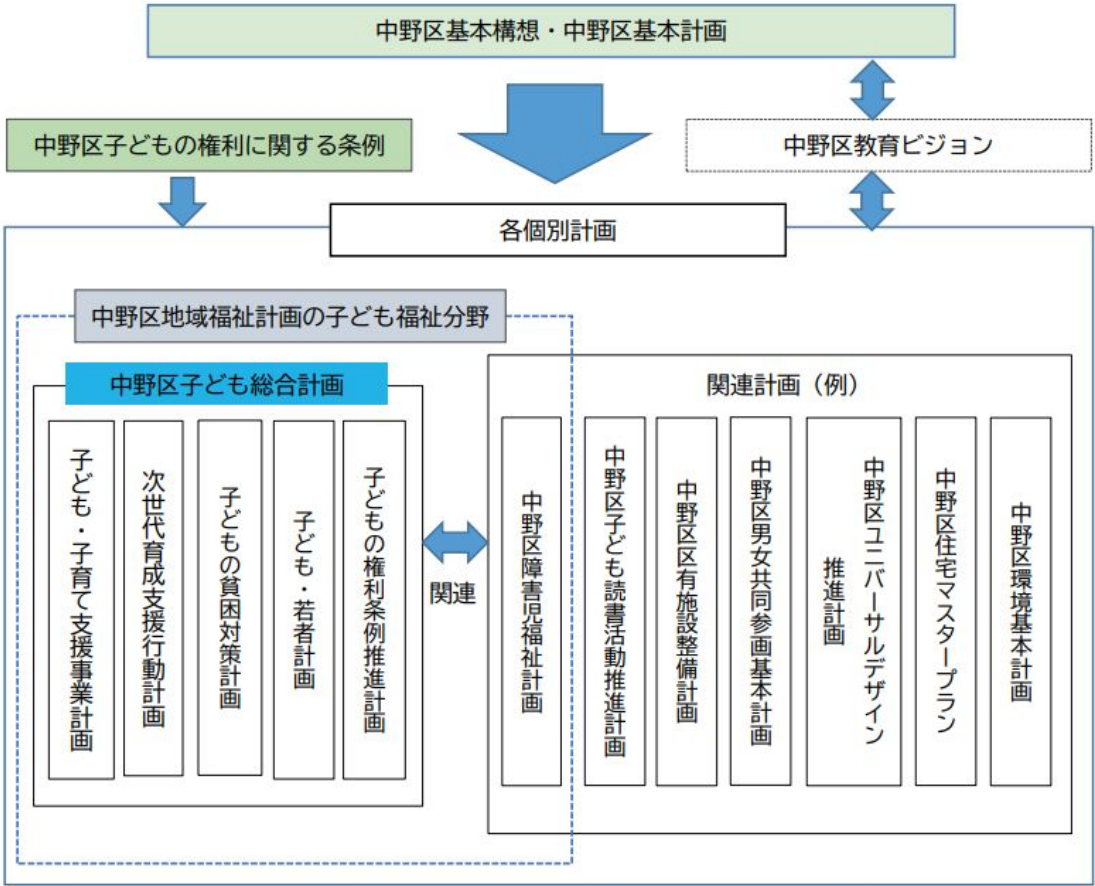
	中野区	足立区
人口 (7歳～15歳)	16,761名 (R5)	48,419名 (R4)
こども食堂/ 居場所施設	41箇所	56箇所
学習支援施設	9施設	13施設
学童	44室	125室
人口/上記施設	178名	243名



* 数値は概算であり、区内の該当施設の公式情報ではない

出所:こどほっとネットinなかの MAP 足立区ホームページ
R5.中野区子ども子育て計画、R4.足立区年齢別人口

中野区の子どもの貧困対策



中野区の子どもの貧困対策（子ども総合計画）



<目標1>

・子どもの権利保障と健やかな成長

<取り組みの方向性>

・子どもの居場所づくり、各種支援

<取り組み>

- ・安心して過ごせる居場所づくり
- ・学習機会の充実
- ・遊び、体験の機会の充実

計画の体系図		
目標	取組の方向性	主な取組
Ⅰ 子どもの権利を保障し、子どものすこやかな成長を支援する	(1)子どもの権利に関する理解促進	①子どもの権利の普及啓発 ②子どもの権利に関する学習機会の充実
	(2)子どもの意見の表明・参加の促進	①子どもの意見表明・参加の仕組みづくり ②子どもの意見表明・参加の機会の確保
	(3)子どもの居場所づくり、学び・遊び・体験の支援	①安心して過ごせる居場所づくり ②学習機会の充実 ③遊び・体験の機会の充実
	(4)子どもの権利侵害の防止、相談・救済	①虐待の未然防止、教育支援体制の整備 ②いじめ、不登校、困難に直面する子どもへの支援 ③子どもの権利侵害に関する相談・救済 ④有害環境等からの保護
Ⅱ 子どもが安心して育つための家庭への支援を推進する	(1)妊娠から子育てにかかる切れ目のない支援	①妊娠、出産、子育てトータル支援の実施 ②子育て支援サービスの充実 ③子育てに関する相談体制の充実
	(2)生活に困難を抱える子育て家庭への支援	①生活困窮家庭への支援 ②ひとり親家庭への支援
	(3)子どもの発達・成長に応じた支援	①発達に課題や障害がある子どもへの支援 ②特別な支援を要する子どもへの教育の充実
Ⅲ 子どもと子育て家庭を支える教育・保育環境を整備する	(1)幼児期から学童期の教育・保育施設の整備	①教育・保育施設の整備と運営事業者の支援 ②学童クラブの整備
	(2)質の高い教育・保育サービスの提供	①就学前教育・保育の質の向上 ②多様な教育・保育サービスの充実
Ⅳ あらゆる若者の社会参画を支援する	(1)すべての若者のすこやかな育成支援	①若者の活動・社会参画の機会の充実 ②若者の居場所の充実
	(2)若者の課題解決に向けた支援	①若者に関する相談支援体制の整備 ②困難でや生きづらさに直面する若者に対する支援
Ⅴ 子ども・若者の成長を地域全体で支える環境づくりを推進する	(1)地域における子育て支援活動の推進	①子育て関連団体への支援 ②地域における子育て支援ネットワークの強化
	(2)子育て世帯が住み続けたい環境の整備	①子育てしやすいまちづくり ②子どもの安心・安全の確保

足立区の子どもの貧困対策

区が捉える4つのボトルネック課題のうち、
「貧困の連鎖」を根底課題として位置づける



上記3つの課題の
根底課題

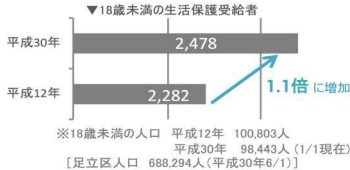
出所：第一期 未来へつなぐあだちプロジェクト

足立区の子どもの貧困対策

経済的な問題

18歳未満の生活保護受給者数

受給者数は減少傾向にあるが、依然として生活保護受給者が **1.1倍**



就学援助率

経済的理由で受ける就学援助受給率が高い
国の平均の **2.0倍**

【参考：昨年度】(2.1倍だった)

足立区	30.4% (H29年度)	足立区	32.3% (H28年度)
都平均	20.5% (H27年度)	都平均	20.5% (H27年度)
国平均	15.4% (H27年度)	国平均	15.4% (H27年度)

※就学援助：経済的理由により就学困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品等の必要な費用を援助する制度

児童扶養手当受給者数

ひとり親家庭向け手当の受給者数が **1.8倍**



学業に関する問題

中学校の不登校率

不登校率が東京都より高い

▼区立中学校の不登校数

[H29年度]	足立区 5.22% (718人)	東京都 3.33% (7,887人)	[H28年度]
[H28年度]	足立区 5.78% (813人)	東京都 3.17% (7,514人)	[H27年度]
[H27年度]	足立区 5.12% (733人)	東京都 3.03% (7,164人)	[H26年度]

高校進学率 (H29年度)

生活保護世帯の高校進学率が **23区より低い**

▼区立中学の子どもの高校等進学率

足立区	98.0%	23区	98.5%
-----	-------	-----	-------

▼生活保護世帯の子どもの高校等進学率

足立区	96.2%	23区	98.0%
全日制	70.6%	全日制	89.0%
定時制	11.9%	定時制	4.3%
通信制	7.1%	通信制	2.9%
その他	6.6%	その他	1.8%

生活保護世帯の子どもの
高校中退率 (H28年度)

高校中退率が **23区より高い**

▼都立高校の中退者数(率)

足立区 4.29% (前年比0.67倍)	23区 3.16%
全日制 3.77%	全日制 2.28%
定時制 5.32%	定時制 13.04%

生活保護世帯の子どもの
高校卒業時の進路未決定者率

▼高校卒業時の進路未決定者

	区内生活保護受給者	区内都立高校
[H29年度]	27.3%	5.95%
[H28年度]	24.0%	5.42%
[H27年度]	12.3%	8.82%

子育てに関する問題

児童虐待相談件数

児童虐待の受理件数も虐待件数は依然として高い数値



子育てを負担に感じたりイライラしたりする人の割合

子育てにストレスを感じる親

▼乳児検診のアンケートでイライラすると回答した人の割合【H29年度】

3～4ヶ月児	40.5%
1歳6ヶ月児	54.5%
3歳児	64.1%

未処置のむし歯がある子どもの割合 (小1)

むし歯の子どもが多いうえそれを放置している子どもが多い(医療費負担なし)

▼歯科検診でむし歯ありの判定を受けた子どもの割合

足立区 39.8%	23区 32.6%
-----------	-----------

【H29年度】

▼歯科検診で未処置のむし歯がある子どもの割合

足立区 23.9%	23区 16.2%
-----------	-----------

【H29年度】

※子どもへの関心が低い、制度を知らない、仕事で歯科に連れていけないなど親の様々な要因が考えられる

＞「足立区子どもの貧困対策実施計画 平成27年度～平成31年度 子どもの貧困に関する指標の推移(2019年2月時点)」より

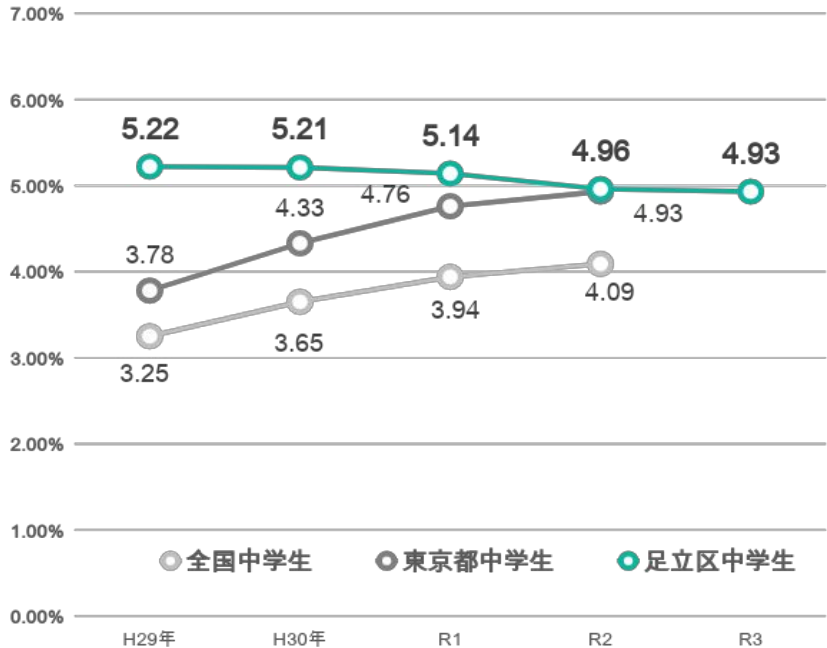
足立区の子どもの貧困対策

不登校児童・生徒数は減少傾向であったが、新型コロナ等の影響等で更に増加に転じている。
全国・東京都と比較し、足立区は不登校生徒数が多く、困難度が高い地域。

足立区不登校児童・生徒の推移(人) ※1



生徒:不登校生徒の推移(%) ※2



出典
※1: 足立区子ども支援センター「げんき令和3年度実績報告」から引用
※2: 文部科学省児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

足立区の子どもの貧困対策

3本の柱立てのうち、「教育・学び」を中心としながらも、
全てに関わるような“第3の居場所”としての事業運営を行い、
包括的に困難を抱える子どもたちを支える取り組みを行う。



足立区の子どもの貧困対策

不登校

不登校児童向け・居場所型学習支援事業

4施設

小5～中3
70名

チャレンジ学級(学校外での学習、小集団指導/適応指導教室)

3ヶ所

小・中学生
120名

あすテッポ(学校内での通級型指導/校内型特例課程教室)

中学校内
2ヶ所

中学生40名

引きこもり

セーフティーネットあだち

1ヶ所

対象者
特に設けず

ルーツ

サクシードグローバルスクール

1ヶ所

就学援助等対象
小～高校生 40名

高校中退/ 学び直し

高校生世代向け・居場所型学習支援事業

2ヶ所

高校生年代
50名

生活困窮

困窮世帯向け・居場所型学習支援事業

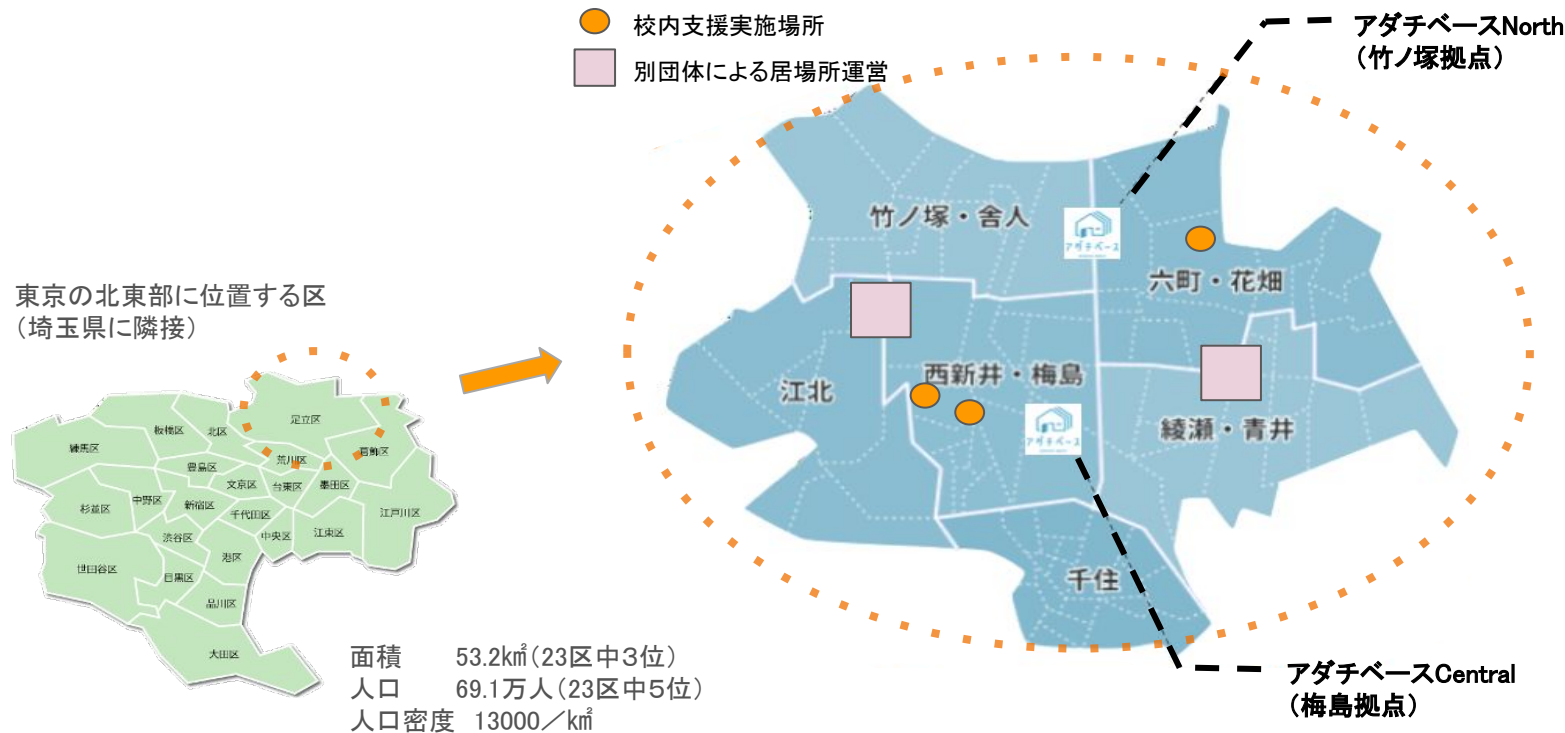
4ヶ所

就学援助等受給者等
中～高校生 370名

アダチベースの概要

区内2拠点(梅島・竹ノ塚)にて校外サードプレイスを運営。

近隣の公立中学校での校内支援やオンライン支援も自主事業として実施。



アダチベースの概要

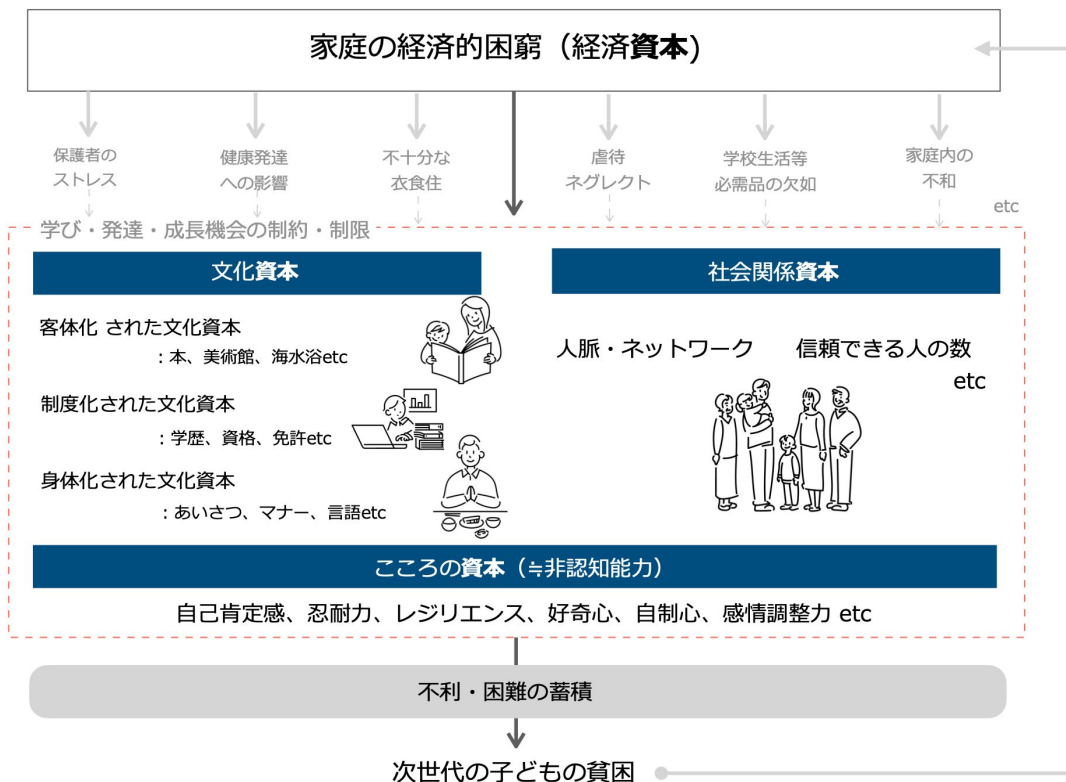
一つの施設で3つの事業＋自主事業を実施。経済的困窮、不登校や中退リスク対応などに取り組んでいる。



	対象学年	対象人数	利用条件	開館時間・頻度	行政窓口
困窮世帯の生徒向けの放課後事業	中学1～3年生 施設卒業の 高校1～3年生	中部 100名 北部 90名	ひとり親手当 生活保護、 準要保護世帯	平日(月曜除く) 15時～21時 土曜/祝日 13時～21時 日曜/長期休暇 10時～20時	福祉部
不登校児童生徒向け事業	小学5～6年生 中学1～3年生	中部 15名 北部 15名	不登校状態かつ あステップ、 チャレンジ学級 未利用生徒	平日(火～金曜) 10時～14時 *長期休暇・祝日休業	教育委員会
中退危機 学び直しが必要な 高校生向け事業	高校1～3年生 高校生年代	中部 30名	区内在住者	原則、月曜日 13～20時	若年者支援課
校内居場所 別室支援事業	中学1～3年生	公立中3校	在籍生徒	午前～放課後	自主事業

アダチベースの概要

経済的な困窮が、文化的、社会的な資本の欠如につながり、貧困が再生産されてしまう。





本日のお品書き

1

中野区・足立区における貧困対策とアダチベース概要

2

休憩

3

アダチベースにおける支援内容・事例紹介

4

現状の課題と今後の展望・子どもたちの声

本日のお品書き

1

中野区・足立区における貧困対策とアダチベース概要

2

休憩

3

アダチベースにおける支援内容・事例紹介

4

現状の課題と今後の展望・子どもたちの声













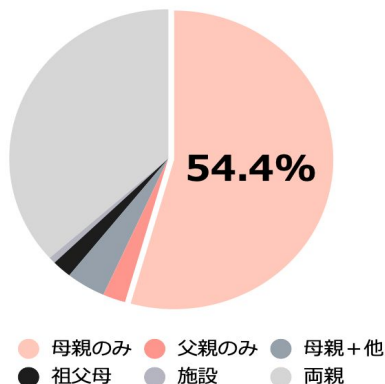




アデータベースの利用者について

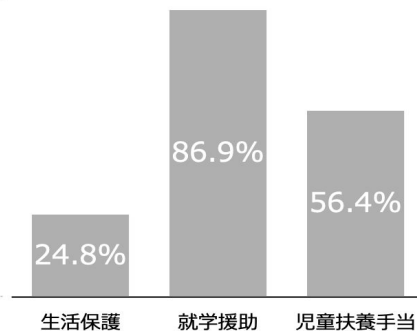
家庭からのバックアップが非常に手薄。家庭の支援を代替している。

施設利用生徒の世帯構成



(N=298) * 2021年7月現在

経済援助制度の受給率



* 全国平均との比較

- 児童扶養手当受給率：6.12%
- 生活保護受給率：1.60%
- 就学援助受給率：14.72%

- ✓ 約6割がひとり親家庭である。
- ✓ ほぼすべての家庭が就学援助世帯を受給している。
- ✓ 約4人に1人は、生活保護受給世帯の子どもである

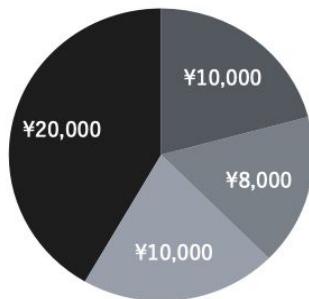
アダチベースの利用者について

高校生世代に活用できるリソース(時間)が、可処分時間となっていない。

浅草高校に通う
高3 男子生徒



● 携帯代
● 学費
● 部活遠征費
● こづかい



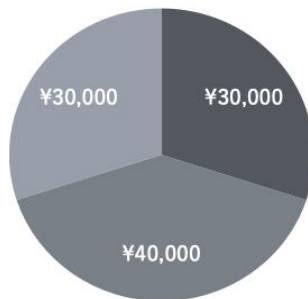
バスケット部に所属
定時制部門の全国大会出場
高2まで大学進学を希望していたが、専門学校進学に変更

バイトは週4程度
カフェで時給980円

足立工業高校に通う
高3 男子生徒



● 携帯代
● 学費
● こづかい
● 借金(自転車)



サッカー部に所属
部員少なく、練習は軽め

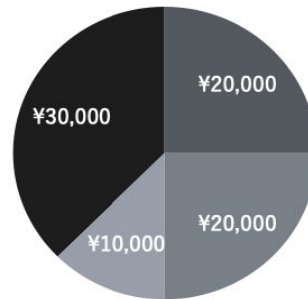
イベント関連会社への
就職希望
* 学校で紹介された

バイトはイベント系の派遣
日給2万くらい

足立高校(定時)に通う
高3 男子生徒



● 携帯代
● 学費
● その他学校に関わる費用
● こづかい



足立工業を中退後定時へ転入
4年生で卒業予定

友人の紹介で配達業へ就職予定
嫁・子ども二人養えると言われて
稼げると感じた(本人談)

朝はコンビニ
昼はサイゼでバイト

課題1



中学3年生
女子生徒

生活習慣、食習慣の乏しさ

ドンキで割引になったお弁当を
買い溜めして、
お父さんと一緒に
2日かけて食べてる んですよ。

課題2

不良な学習環境が原因となった、
学ぶ意欲と学習習慣の格差



中学2年生
男子生徒

家には自分の部屋がないし、
兄弟がうるさくて集中できない から、
公園からオンラインでつないで勉強
していいですか？

課題3

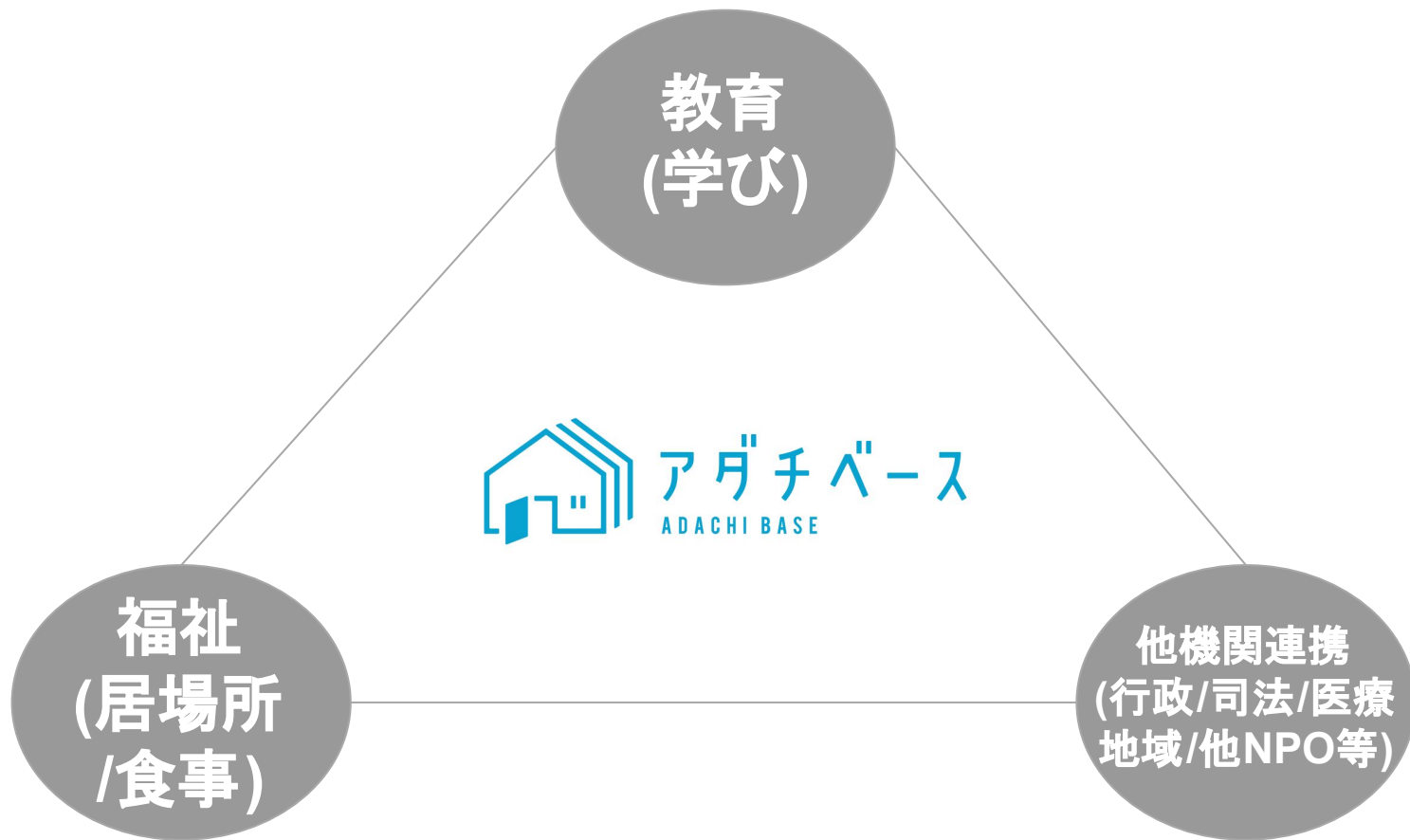


高校2年生
女子生徒

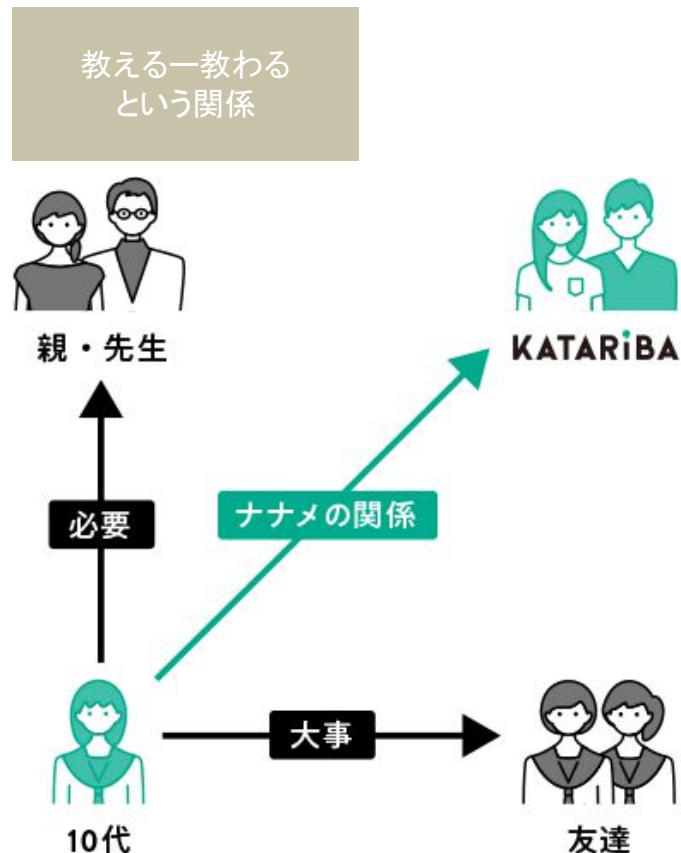
極度に困難な家庭環境のため、
「がんばる」ための
スタートラインに立てないケース

家にまだ小さい兄妹がいて、
お母さんの帰りも遅いので部活やバイ
トもほとんどできない。
高校からは自立しないといけな
いの
で、大学進学は辞めて、やっぱり就職
します。

アダチベースの支援について



アダチベースの支援について



タテとヨコの関係が
人としての基盤を築く存在
だとすれば、

ナナメの関係は
**内発性溢れる意欲に
火を灯す存在。**

親近感と**憧れ**によって、
中高生にとってナナメの関係
の存在となる。

アダチベースの支援について

目的に合わせてフロアを分け、一日に20名～30名程度の中高生が利用

居場所／フリースペース



■主な使いかた

- ・友だちやスタッフとおしゃべり
- ・20人ほどで食卓を囲んで食事
- ・クリスマスパーティなどのイベント
- ・卓球やギター、トランプなどの遊び など

学習／ラウンジスペース



■主な使いかた

- ・自身のペースで取り組める自習
(常にスタッフがいて質問できます)
- ・350冊を超える本や漫画をゆっくり読む
- ・少人数制のクラスによる学習 など

アダチベースの支援について

学び・体験・食事・居場所など多機能をワンストップに届けられる施設

学習支援プログラム

子どもたちの学習のつまずきは多様であるため、ICT教材も活用し各個人にオーダーメイドした学習を提供し、検定機会の提供や受験等に伴走する。



体験支援プログラム

支援企業や関係団体との連携はもちろん、区内地域の方々との協働のワークショップを定期的に行い、子どもたちの興味関心を刺激する。



▶ラインスタンプづくりワークショップ



▶他団体と連携した演劇ワークショップ

食事支援プログラム

開館日に必ず提供する栄養があり温かな夕食。地域の方からの協力も頂きながら準備から片付けまでに子どもたちが参画し、1つのテーブルで夕食を囲む。



居場所支援プログラム

また来たる温かみに溢れたフリースペース。ハードはもちろん、人の関わりやコミュニティづくりなどソフトの仕掛けにより、居場所を提供する。

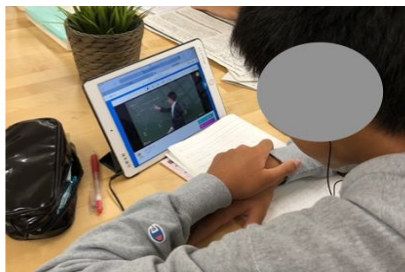


アダチベースの支援について

学び・体験・食事・居場所など多機能をワンストップに届けられる施設

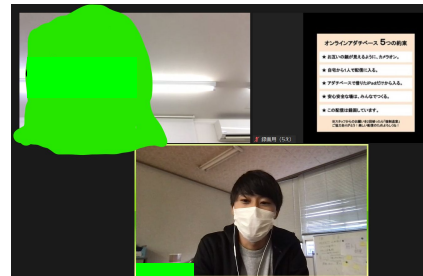
高等教育機関進学支援プログラム

高校卒業後の進路選択の選択肢を狭めず、本人の志望する進路に進めるよう
大学受験などの受験件走を奨学金の案内なども含め行う



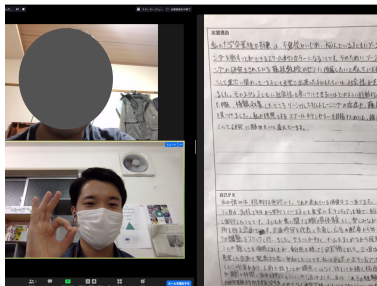
プロジェクト型経験学習支援

高校生が継続して活動している部活やアルバイト等について、
メンターとの対話を定期的 to 実施し、経験学習サイクルを回すプログラムを実施



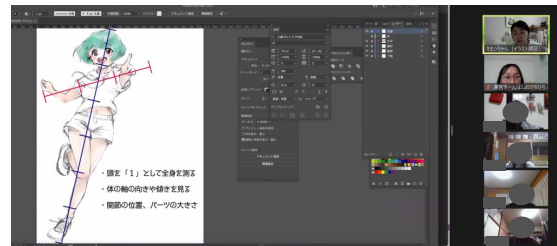
就職活動支援プログラム

高校卒業後に就職を目指す生徒と、人事経験者や経営者等のボランティアを
マッチングし、企業分析、自己分析、自己PR、面接練習等を行います



オンライン習い事プログラム

カタリバ事業横断のメタバース空間のなかで
イラスト、プログラミング講座等、興味関心に紐づくプログラムを提供

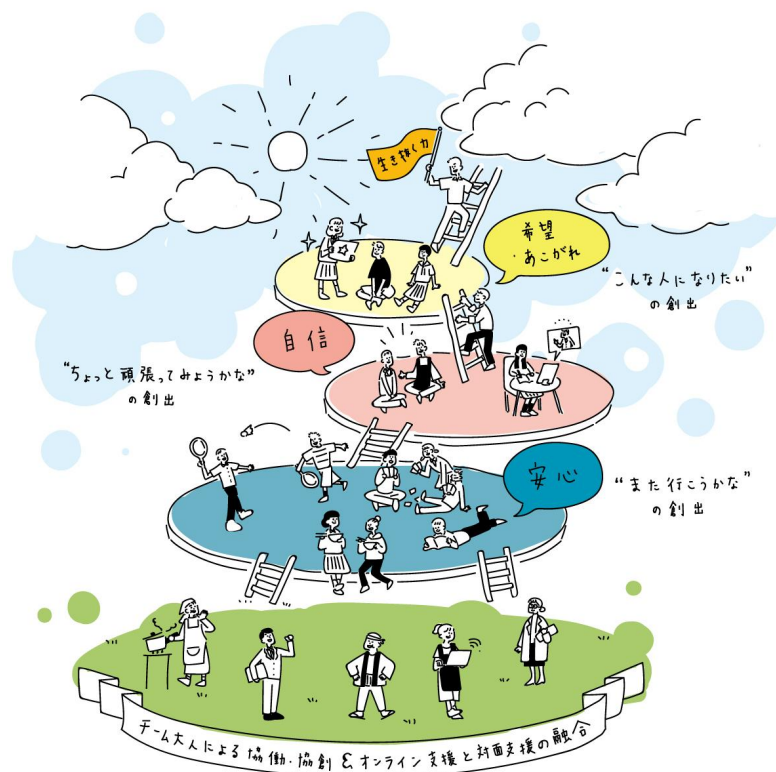


子ども・若者を真ん中においてかんがえる(施設コンセプト)

家庭や学校に居場所を感じられない子ども・若者も、
アダチベースにくると
なんだかあたたかい気持ちになる、
そんな場所を目指しています

■アダチベースでの5つの提供価値

1. “居て良いんだ”を届ける
2. “なんだか安心する”を届ける
3. “自分にもできるかもしれない”を届ける
4. “最後までできた！”を届ける
5. “こんな人になりたい！”を届ける

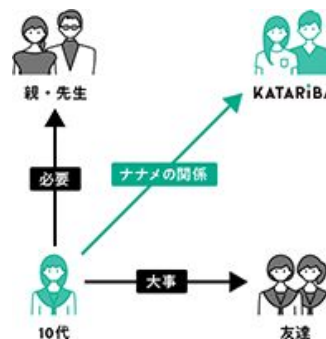


“ナナメの関係”である「Katariba Youth Social Worker (KYSW)」の存在

ポジティブなときもネガティブなときも変わらず、
彼らの可能性を信じ、応援メッセージを届け続けるオトナたちが「KYSW」

【KYSWが持つ専門性】

- ・教育/福祉領域の各領域における専門家ではない
- ・家庭・学校でもない「第3の居場所」で、子どもたちの日常に寄り添う専門家
- ・日常に寄り添う”ナナメの関係”だからこそ、彼らの言葉にならない声や変化に気づくこともある
- ・その声に耳を傾け、彼らが自分の足で歩いていくためのお手伝いをする
- ・福祉と教育、子どもと取り囲む周囲の環境との架け橋になれる存在だと考えている



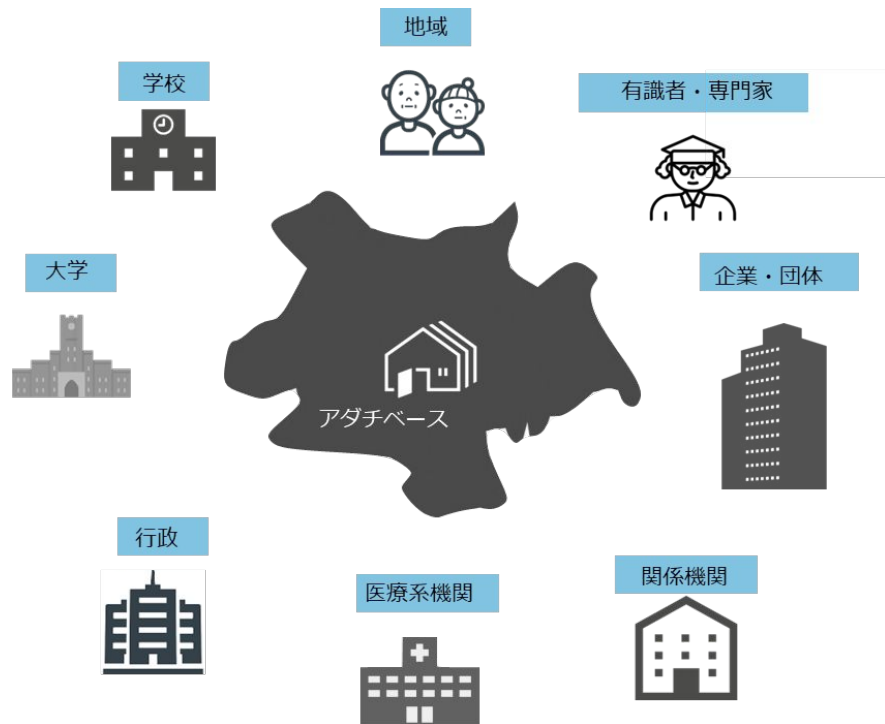
■ KYSWがいることで、子どもたちが安心して過ごせる場所をつくっている



逆境体験のリスクに気づき対応すること
子どもたちが大人になったときに逆境体験の連鎖が起きないようにすること

チーム大人で作る子どもたちの安心・安全な居場所

チーム大人の輪を広げ、子どもたちを見守る体制を強固に
幅広い担い手たちの想いを伝え、関わり続ける



▼地域でのものづくりワークショップに参加



アダチベースケース①

▼高校受験に対しての不満・不安への対応

- ・頻度高く自主学習をしにくる中学3年生男子
- ・頑張っているが理解できない&結果がでない、もっと頑張れと母に言われる
- ・集中できる環境が整っていない！と本人からの愚痴。
- ・我々からのねぎらいや称賛をすると、さらに愚痴や弱音がこぼれてくる
- ・やることを決めても、次から次に新しいやるべきことが舞い込む

▶どのような心構え、対応が大事そうか？

アダチベースケース①

▼高校受験に対しての不満・不安への対応

- ・これからストレスは溜まっていく、学校も家も居心地が悪くなっていく
 - ・ずっと緊張感をもって過ごすことは難しい
 - ・こどもたちからの見え方はどうだろうか？学校や家と同じ見え方にならないか？
 - ・ストレス発散の場所、うさ晴らしするところという覚悟を持つ（安心を届ける）
 - ・アダチベースから受験の現実へ向かえるような雰囲気を作る
-
- ▶明日から頑張れる充電の場所とする（溜まったもの出šina～～）
 - ▶勉強モードにすると、こどもたちの逃げ場がなくなる
 - ▶悪口と同調はしない、火に油は注がない

学校・保護者(大人/社会)とあえて違うポジショニングをとる

アダチベースケース②

▼意欲や元気はないけど、利用は継続している掴みどころがない生徒への対応

- ・スタッフのいうことはなぜか割と聞いてくれる中2男子
- ・学習クラスに行きたくないと言ったので、代替手段として家庭学習の報告を課す
- ・正直学習要素は少ないが、毎度嫌がらずに来ている
- ・小さな目標を提示し「できる？頑張ってみる？」と声を掛けるが、「いや無理です」
- ・将来の話をして、明るい未来は期待していない、どこかあきらめを感じる

▶どのような心構え、対応が大事そうか？

アダチベースケース②

▼意欲や元気はないけど、利用は継続している掴みどころがない生徒への対応

- ・周りからの促しがあっても頑張った先に何があるのか知らない
 - ・大人目線では早く準備させたい、頑張ることの積み重ねが将来に繋がることを示したい。が、本人は理解できない
 - ・先のことではなく、今日楽しかった。の数珠つながりが大事。
-
- ▶毎回のプチ嬉しいを届けていく。「今日楽しいは、次楽しい」
 - ▶続いていくことで利用して楽しい。アダチベース卒業後の期待につながれば理想

転ばぬ先の杖を用意せずに、今のその子に焦点をあてて寄り添う

アダチベースケース③

▼ 飲酒等で特別指導、バイトも無断欠勤で退職。中退寸前の生徒対応

- ・派手めな高2女子
- ・グループで飲酒をし、チクったのが自分だと噂を流される
- ・学校に行きづらく、修学旅行もいかない判断
- ・他校の生徒と関係をもち、家に連れ込み母と喧嘩
- ・彼女の生きている世界が全部敵
- ・向き合って話そうにもスタッフによって提示する話題がちがう

▶ どのような心構え、対応が大事そうか？

アダチベースケース③

▼ 飲酒等で特別指導、バイトも無断欠勤で退職。中退寸前の生徒には？

- ・状況的に悪いことが重なっている展開
 - ・スタッフの関わりが彼女のネガティブを引き出している可能性があるのでは？
→ つらい状況をサポートしているつもりが、ネガティブな話を引き出し、
気持ちがエスカレート、行動が強化されている可能性？
 - ・「アダチベースにくると気持ちを引き上げてくれたなー」を作りたい
-
- ▶ 話の流れが極端な言動が出たら早めに切り上げる
 - ▶ しんどい状況を聞くのが私達の役割！ となりすぎると対応を間違えやすい
 - ▶ ネガティブは流し、ポジティブを見つけて、育てていく

傾聴、共感の罠にハマらず、ポジティブな心を見つけ育てていく

アダチベース支援事例④

ヤングケアラー、DV被害、一時保護経験があり、 学校登校、居場所施設等への利用基盤が整いきっていない 高校2年生、女性利用者

◆家庭、生活状況

母、本人含めた兄弟5名で暮らしている。母がフィリピン人で簡単な日本語が話せる。行政手続き等は、基本的には本人が行っており、兄弟の世話、食事の準備など、家事の多くを本人が担っている。父からのDVや母の本人への束縛が強く、家庭環境が安定していない。

◆中学・高校での様子

高校1年の途中で足立区に転居している。高校でも欠席が目立ち進級が危ぶまれていた。学校側の特別な措置もあり、無事に進級。将来は大学進学を希望している。

◆利用時の様子・支援内容

教育支援センターと協働して来館を促しているが、利用開始当初は来館が少なかった。関係機関からの共有によると、極力家庭から引っ張り出し、「健全なオトナ」と触れ合うことが大切である、という引き継ぎをもらっているため、無理のない範囲で電話で話している。最近は利用回数も安定してきており、自主学習や調理の手伝いもしている。

アダチベース支援事例⑤

中学時代は不登校でチャレンジ学級を利用、中学3年から利用を開始し、高校進学、留学プログラムへの参加に繋いだ事例

◆家庭、生活状況

母と姉4人と生活している。母は看護師で 19時までは仕事。姉は夜のバイトや引きこもりになっている。就学援助、児童扶養手当の受給世帯。

◆中学・高校での様子

中学1年の後半で同級生の男子からの暴言により登校渋りになった。中2からは完全に不登校。中3からチャレンジ学級に通うことになり、少しずつ勉強する習慣をつけていった。高校は通信制の学校に進学している。

◆利用時の様子・支援内容

利用開始当初は男性スタッフが苦手であったり、極度に緊張している様子もあったが、関係をつくったスタッフ1人を起点に、交友関係の輪を広げていった。本人のネガティブをリフレーミングすることで、自己肯定感を向上できるよう努めた。足立区企画のオーストラリアへの留学プログラムにも応募し、自習室で申請書の作文を書き上げ、面接練習も行い、無事に合格。プログラムに参加している。

アダチベース支援事例⑥



Aさん

- ・ひとり親家庭(母子)。母は配送業のドライバーで帰宅が遅く、中学時代から夜遅くまで友人と遊び回る生活。
- ・2016年(当時中学1年生)より登録。足立区立 X中学校を卒業し、2019年度より区内の全日制 Y高校に進学。
- ・高校1年次に全日制高校を中退し、フリーターを経て、定時制 Z高校に入学、高卒認定試験に合格し卒業。
- ・2022年度より、美容系の専門学校に進学し、将来は個人での美容室開業を目指している。

2019年度～

Y高校(全日制)在籍



担任



YSW

・情報連携

・中退予防の働きかけ

2020年度～

フリーター期間

・情報連携



足立区福祉部
アダチベース

- ・進路相談
- ・受験指導
- ・各種リスク検知と対応

2021年度～

Z高校(定時制)在籍



担任



YSW

- ・情報連携
- ・中退予防の働きかけ
- ・高卒認定試験のサポート
- ・卒業後の計画立て、相談先の紹介

本日のお品書き

1

中野区・足立区における貧困対策とアダチベース概要

2

休憩

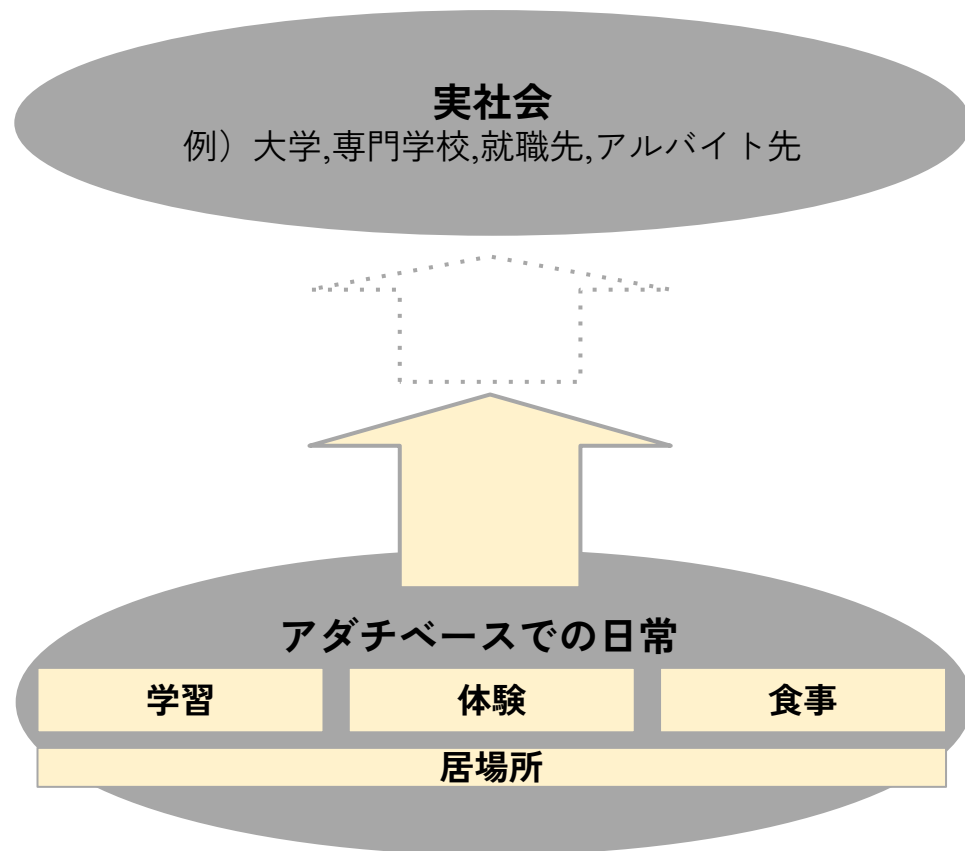
3

アダチベースにおける支援内容・事例紹介

4

現状の課題と今後の展望・子どもたちの声

現状の課題と今後の取り組み(拠点内)



■ 課題

アダチベースの中では
様々な挑戦をして自信をつけることができて、

- ・進学先を中退してしまったり、
- ・仕事をやめてしまったり、

実社会の中でうまくいかない子どもたちが一定数いる
ことが課題としてあった。

■ 背景

・実社会に近い環境で困難を乗り越えて成功体験を持つ
機会が少なかった

・アダチベース以外の場所でも自ら居場所や相談先を
つくることのできるようになる力をつける機会が少
なかった

社会的自立をサポートする
「地域活動としての挑戦機会」プロジェクトを推進

現状の課題と今後の取り組み(拠点内)

一人ひとりの成長段階に応じた多様な地域活動への参画が生まれた。
地域の方とのつながりのなかで、自己効力感を高めることにもつながっている。

参加・実施状況

参加者数(延べ)

68 名



実施例

地域貢献に取り組むおにぎり屋さんにて、学習障がいグレーゾーンにあり、アルバイト経験がなく物怖じしていた高校生がボランティア体験を通じて自信をつけた。
その後スーパーのアルバイトに採用され、勤続1年以上が経過している。

接続先例

団体名	内容	団体名	内容
あたちこども食堂	子ども食堂での調理補助や準備・片付け、参加した子どもたちと一緒に遊ぶ体験	てとらぽっと	梅島商店街の縁日イベントにボランティアスタッフとして参加
わかばケアセンター	フードドライブ活動の運営ボランティア	(株)ナオヨシ	将来関心のある職業や業界について、現役の弁護士、および路線バス運転手とのオンライン面談実施
チョイふる	外国人、外国ルーツを持つ人と日本人が交流する旅カフェにて子どもたちと遊ぶ	カレー屋ことこと	カレー屋さんで提供するスイーツを企画、調理、提供する体験

現状の課題と今後の取り組み(拠点外)

ユニバーサルな校内居場所とターゲットを決めた個別支援の両軸で課題にアプローチしている

校内居場所／放課後学習室プロジェクト



空き教室を活用し、子どもたちが「ほっとできる」リビングのような空間を設置。ナナメの関係を活かした、支援を行っています。

校内別室支援プロジェクト



不登校生徒を対象に別室を利用した学習、居場所支援。給食提供から学習支援まで、本人が安心できる環境で個別最適な学びを提供。

現状の課題と今後の取り組み(拠点外)

「ochanoma」と名付けた校内居場所は、子ども・地域の方・学校職員・NPOと協働して作った手作りの場所



現状の課題と今後の取り組み(拠点外)

イベントの講師、体験型プログラムでの協働、人材育成や場所貸し等も行い、区内全域へ事業価値を届けていく

▼こども食堂向け学習支援研修の実施



竹ノ塚拠点にて、あだちこども食堂の活動に参加する大学生に向けて学習支援研修を実施

2022年度も梅島拠点・竹ノ塚拠点近隣の団体に向けて実施予定。

▼外国ルーツの子どもの支援団体への施設貸し出し



当館の月曜閉館時に、支援団体に自習室を貸し出し、教材等も含めた学習環境を提供。

子どもたちの声

▼卒業時にアダチベースの後輩（中高生）向けに書いてくれた手紙



Aさん

- ・母・兄・本人
- ・就学援助、
児童扶養手当受給
- ・ADHDの診断あり。
兄：発達障害傾向
- ・学習面での遅れがある
- ・中1の終わりに登録

私は生まれてから あまり「愛されている」と感じた事がありませんでした。
愛されていないわけじゃないけれど、愛されていると思えませんでした。

そんな自分にとって スタッフさんがくれる 優しさは 私の欠いた心
をうめてくれました。

足立ベースは 私の 第二の家であり、皆が家族である。
どんな私でも受け入れてくれる 居場所。

子どもたちの声

▼卒業時にお世話になったスタッフに送った手紙



Bさん

- ・母・姉・本人
- ・就学援助・児童扶養手当
生活保護受給
- ・中学時代から自習やクラス
の遅刻欠席が目立つ
- ・当初から志していた
公務員に向けて勉強中

程思い出がめっちゃ、中でも、思い出に残ってるのは、中学生の日常の
自習の時間と、授業ですね。授業 [redacted] は
自分達のために、真剣に向き合ってくれてくれて、当時は、人にならなくて受けて
ましたけど、今となっては、あの授業があったおかげで、偉い人並みに勉強
ができるようになったと思います。感謝しています。自習は、漢字を書きま
して、人が来るとは高校生になってから自分が辛い時にそばにいて
話を聞いてくれて [redacted] などなどの
スタッフの方には、本当に感謝して来なくてはいけなくて、感謝しています。あの時、
アタチベースに来てはかた、今自分はいないと思います。本当に、ありがとう
ございました！！ もうアタチベースのスタッフの方々に、散々話した事はないで

子どもたちの声



Cさん

- ・父(養父)、母、本人、妹(義父姉妹)
- ・就学援助受給
- ・両親から言葉の暴力を受け「愛された実感がない」と語っていた中学生時代
- ・中3の7月登録

▼卒業時にアダチベースの後輩(中高生)向けに書いてくれた手紙

将来の夢もしている事もほか、に私ですばアダチベースで過ごしてきて夢も見つける事ができた。ただいま、おかし、かど言えるようなあったかい食堂を、皆の居場所をつくることかど私の一生の夢になりました。

▼卒業後のインタビューにて

- ・高校生がカッコイイと思って「マイプロに出る」と決めた中3、子ども食堂のお手伝いを始めた高1。その背中を押してくれたのは、いつもスタッフの「やってみなよ」という言葉だった。
- ・関わってくれた人、全員がロールモデル。
みんなのいいところを全部集めた人になりたい。



令和6年中野若者会議



提言発表会

若者視点でテーマごとに
区政へ提言します。

取り組みテーマ

- 情報発信
- 環境×生活
- 多文化共生
- 中高生の居場所

会場

中野区役所
1Fナカノバ

申込不要

どなたでも
ご覧いただけます！

開催日時

2024.12.15(日)

13:00~16:00



ご清聴ありがとうございました